

整理番号	受付日
------	-----

■お申込み先 FAX: 0598-22-0003  
 郵送: 〒515-8515 三重県松阪市殿町1340番地1  
 松阪市役所 観光交流課 宛  
 メール: kank.div@city.matsusaka.mie.jp

## 「松阪経営文化セミナー」受講申込用紙

(※は必須項目です)

(ふりがな) ※	
氏名 ※	
住所 ※ (方書・会社名)	〒 ー ( )
電話番号 ※	
メールアドレス	
参加希望セミナー ※	<p>参加したいセミナーにチェック (☑) してください。</p> <p><input type="checkbox"/> ①「<del>松阪商人と物のあはれ</del>」 <b>受付は終了しました。</b>  <del>～本居宣長と小津安二郎をむすぶ～</del></p> <p><input type="checkbox"/> ②「<del>松阪商人の底力</del>」 <b>受付は終了しました。</b>  <del>～三井高利・本居宣長・小津安二郎を生んだ町の秘密～</del></p>
本セミナーへのご参加の理由や期待されることをご記入下さい。	

※受講の可否: 各セミナーとも申込者数が定員になり次第、受付を終了させていただきます。

※情報保護: お預りした個人情報、受講通知発送の連絡等セミナー実施・検証の目的に限定して使用し、個人が特定できる形で漏出せぬよう管理いたします。

(お問い合わせ先)

松阪市役所 産業経済部 観光交流課

〒515-8515

三重県松阪市殿町1340番地1

電話: 0598-53-4406 (平日 9:00~17:00)

FAX: 0598-22-0003

メール: [kank.div@city.matsusaka.mie.jp](mailto:kank.div@city.matsusaka.mie.jp)



松阪市マスコットキャラクター  
「ちゃちゃも」

江戸時代の流通経済を支えた

松阪商人に学ぶ「松阪経営文化塾事業」

# 物のあはれを知る 松阪経営文化セミナー

In 東京日本橋



「東都三井店之図」 所蔵 西方寺(松阪市清水町)

東京日本橋と松阪市との繋がりを今年も新たな視点でお届けします。

松阪商人の特徴の一つは、「主人は国にいる」こと。つまり商売の最前線である江戸ではなく伊勢国松阪に暮らし、彼らには『家族』での生活があったのです。時には三井高蔭のように娘の教育で頭を悩ませることもあります。それもぜいたくな悩みというもの。

そんな中で、男と女の論理と理屈が調和し、松阪の町の雰囲気は形成されていきました。

さて、今回のテーマ「物のあはれを知る」は、本居宣長が『源氏物語』を味読することで見つけた日本人の美意識です。これは「女性の感性の尊重」と言い換えることができます。そんな宣長の学問に共感し育んだのが松阪の商人たちでした。

宣長の発見したこの美意識は、近代になって小津安二郎監督の映画で花開きます。安二郎はこんなことを言っています。「私の映画は、物のあはれということだ。」宣長もまた安二郎も、実は松阪の豪商「小津党」の末裔なのです。名門の商家の子として生まれながら、学芸の世界に入っていった二人は、手法こそ違えど共通するのは、「家」そして「家族」の来し方行く末を見つめる静かな想い、諦念なのです。

三年目を迎えた、松阪経営文化塾事業

「松阪経営文化セミナー」。

本居宣長から豪商たちへ伝わりを見せる、「物のあはれ」という日本人の心に古くから根付く美意識。

人の痛みをわかり、豊かな感性を培う松阪の人と風土は、江戸から近代へと、新たな時代の彼を創造する力となっていきます。

受継がれてきた「豊かな心」、きっと感じていただけるはずです。



松阪市長  
山中 光茂

9/30  
(水)

テーマ

①「松阪商人と物のあはれ」

～本居宣長と小津安二郎をむすぶ～

とき:午後6時30分～午後8時30分  
【開場:午後5時30分～】

○講師 女優/エッセイスト 中井貴恵氏  
全国小津安二郎ネットワーク会長 藤田明氏  
株式会社 小津商店 取締役 中田範三氏  
公益財団法人鈴屋遺蹟保存会  
本居宣長記念館 館長 吉田悦之氏

○会場 中央区立 日本橋公会堂 4Fホール  
(東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目31番1号)

○定員 400名 受付は終了しました。

○内容 第1部 ～松阪商人と文化～

小津安二郎監督に幼い頃、孫のように可愛がられた思い出のある中井貴恵さんに、小津安二郎監督の映画で主題となる「家族」という視点から、監督との思い出などをたっぷり語っていただきます。

藤田明さんには、安二郎が多感な少年期を過ごした松阪と作品への影響、また、松阪の商家における「家族」としての父の不在、という眼で安二郎論を語っていただきます。

第2部 ～小津党の底力～

ゲストに松阪・小津党の暖簾を守る、株式会社 小津商店 取締役の中田範三さんを迎え、中井さん、藤田さんを交えてのトークセッションを行います。

松阪の町から、豪商文化、本居宣長、小津安二郎の映画作品まで、時にはロー・ポジションから、あるいは、広いパースペクティブに立って語っていただきます。



小津安二郎監督と幼少期の中井貴恵さん

応募方法等

※10/24(土)開催分の受付は終了しました。

◎募集期間

平成27年7月15日(水)から各セミナー開催日の2週間前の日の午後5時必着。

◎参加費

無料

◎応募資格

松阪に興味のある方であれば、どなたでもご参加いただけます。  
なお、毎回参加をお勧めいたします。

◎応募手続

参加ご希望の方は、受講申込用紙により郵送、FAX、メールのいずれかでお申し込みください。  
受講申込用紙は、松阪市のホームページからもダウンロードすることができます。

(<http://www.city.matsusaka.mie.jp/>)

なお、各セミナーとも申込者数が定員になり次第、受付を終了いたしますのでご了承下さい。

講師紹介

東京日本橋

～安二郎・宣長とゆかりの深い講師の方々～



なかい きえ  
中井 貴恵氏

9/30

女優/エッセイスト

2009年から小津映画を一人で朗読する「音語り」に取り組んできて感じたことや、小津監督との思い出などを「家族」を視点に語っていただきます。



ふじた あきら  
藤田 明氏

9/30

全国小津安二郎ネットワーク会長

伊勢平野の持つ風土性が小津監督の作品に与えた影響など、多感な少年期を過ごした松阪と小津監督の関わりを語っていただきます。



なかた のりみつ  
中田 範三氏

9/30

株式会社 小津商店(創業1653年)  
取締役

小津グループは、紙商小津として日本橋に1653年創業されました。  
現在までの歩みを語っていただきます。



よした よしゆき  
吉田 悦之氏

9/30 10/24

公益財団法人鈴屋遺蹟保存会  
本居宣長記念館 館長

10/24  
(土)

テーマ

②「松阪商人の底力」

～三井高利・本居宣長・  
小津安二郎を生んだ町の秘密～

とき:午後7時～午後8時30分  
【開場:午後6時30分～】

※日本橋京橋まつりの前日に開催

○講師 公益財団法人鈴屋遺蹟保存会  
本居宣長記念館 館長 吉田悦之氏

○会場 三重テラス  
(東京都中央区日本橋室町2-4-1  
浮世小路千疋屋ビル「YUITO ANNEX」2F)

○定員 70名 受付は終了しました。

○内容 江戸日本橋と伊勢国松阪が「経済」という太いパイプでむすばれ、商人たちは商品をブランド化し、経営を文化にまで高めていきました。その繁栄は、やがて経営文化だけでなく、学芸にまで影響を及ぼしていきました。それもパトロンとして支援するだけではなく、全く新しい文化を創造していったのです。

三井高利、本居宣長、竹川竹斎、松浦武四郎、小津安二郎。きら星の如く日本文化史上に居並ぶ松阪の先人たち。彼らを生み出したこの町の秘密を探る旅に皆さんを誘います。